



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 富士ソフト株式会社

上場取引所 東

コード番号 9749 URL <http://www.fsi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂下 智保

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 内藤 達也

TEL 03-5209-5550(代)

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	65,788	△1.6	2,102	37.8	1,550	△1.6	264	△79.5
23年3月期第2四半期	66,824	△7.7	1,526	△6.7	1,575	△2.5	1,291	2.9

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 460百万円 (△47.5%) 23年3月期第2四半期 876百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.31	—
23年3月期第2四半期	40.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	159,556	84,241	46.2
23年3月期	169,416	84,278	43.5

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 73,683百万円 23年3月期 73,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	△0.6	4,500	18.6	3,700	1.4	1,300	△48.2	40.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料P. 4をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	35,746,329 株	23年3月期	35,746,329 株
24年3月期2Q	3,861,368 株	23年3月期	3,861,218 株
24年3月期2Q	31,885,026 株	23年3月期2Q	31,885,372 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参考下さい。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報等.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により低迷した企業の生産活動に持ち直しの動きが見られたものの、海外経済の停滞による円高の進行や輸出の伸び悩みの影響もあり、先行き厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましては、企業のIT投資に対する一部需要での改善傾向が見られますが、全体では依然として慎重な姿勢で推移してまいりました。

このような情勢下、当社グループは当期より5ヵ年を計画期間とする第一次経営計画をスタートさせ、「骨太の戦略～五つの柱～」(受託ビジネス基盤の強化・プライム化の推進・プロダクト化の推進・グローバル化の推進・グループ力の強化)をベースにグループ一体での事業を強力に推進してまいりました。

また、昨年度より引き続きプロジェクト管理強化の徹底のため、共通フレームワークの適用による開発作業の標準化・合理化を図り、収益の向上に努めてまいりました。さらに、グループ一体運営に向けては、クロスセルやアライアンスの強化を進め、グループとしての結束力を強化してまいりました。

事業活動におきましては、昨今各国で化学物質規制についての法整備が進んでいるなか、サプライチェーン全体に対する化学物質情報調査の負荷軽減が実現可能なサービスをSaaS型で提供し、業務効率化と精度向上を実現可能とし、かつ法令に対応するためのシステム「FSGreen Chemical Report」の販売を平成23年9月より開始してまいりました。

クラウドビジネスにおきましては、昨年度に構築いたしましたプライベートクラウド基盤を活用し、流通業界のお客様にSaaS型で提供する、富士ソフトグループ「流通クラウド」の展開を引き続き図ってまいりました。

クラウドコンピューティングの一つとして筑波大学と共同で進めている「ディペンダブルな自律連合型クラウドコンピューティング基盤の研究開発」におきましては、クラウドコンピューティング基盤ソフトウェア「Kumoi(くもい)」に関するドキュメントを作成し公開いたしました。

さらに、平成20年より毎年開催しております「FUJISOFT ソリューションセミナー」につきましては、11月より東京をはじめとする、全国4都市で「クラウド&モバイルイノベーション」のテーマの下、クラウドコンピューティングとモバイルの活用が企業のIT投資の効率化や企業競争力を強化し、事業継続に貢献出来るとする内容の多彩なセッションで実施してまいります。

その他、東日本大震災の影響により節電意識の高まりもある中で、Windows Azure(Microsoft社が提供するクラウドサービス)を活用して、消費電力をパソコンや携帯電話からリアルタイムに「見える化」出来るサービスの提供を開始し、節電の促進に繋げてまいりました。また、東日本大震災の被災自治体に対しては、1年間無償にて行政と住民の皆さまとの情報発信にご利用いただける情報掲示板として、デジタルサイネージソリューションの提供を開始いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は657億88百万円(前年同期比1.6%減)となりました。しかしながら、継続的な経費の削減等により販売費及び一般管理費は131億59百万円(前年同期比5.2%減)と減少したことにより、営業利益は21億2百万円(前年同期比37.8%増)となりました。

また、持分法投資損失の計上等により、経常利益は15億50百万円(前年同期比1.6%減)となり、特別損失に事業所閉鎖損失、投資有価証券評価損の計上等や法人税等の増加の影響もあり、四半期純利益は2億64百万円(前年同期比79.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①S I (システムインテグレーション) 事業

S I 事業につきましては、組込系における通信制御系、業務系における金融系等が低調だったものの、組込系における機械制御系、業務系における製造業は好調に推移したため、売上高は616億74百万円(前年同期比0.2%増)となり、営業利益は16億71百万円(前年同期比37.3%増)となりました。

②ファシリティ事業

ファシリティ事業につきましては、当社及び一部の子会社が所有しているオフィスの賃貸収入により、売上高は9億74百万円(前年同期比9.9%減)となりましたが、減価償却方法の変更もあり、営業利益は4億8百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

③その他

その他につきましては、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等の収入の減少に加え、株式会社マーキュリースタッフイングを持分法の適用範囲に含めたことに伴う収入減もあり、売上高は31億39百万円（前年同期比25.4%減）となり、営業利益は22百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,595億56百万円（前連結会計年度末差98億59百万円減）となりました。その内訳は、流動資産が510億6百万円（前連結会計年度末差65億28百万円減）、固定資産が1,085億50百万円（前連結会計年度末差33億31百万円減）であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金が177億9百万円（前連結会計年度末差43億35百万円減）及び受取手形及び売掛金が257億52百万円（前連結会計年度末差26億32百万円減）となったこと等によるものであります。

固定資産の主な変動要因は、無形固定資産のうち、のれんが36億92百万円（前連結会計年度末差5億13百万円減）と、投資その他の資産のうち投資有価証券が137億49百万円（前連結会計年度末差12億67百万円減）となったこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は753億14百万円（前連結会計年度末差98億22百万円減）となりました。その内訳は、流動負債が497億39百万円（前連結会計年度末差53億59百万円減）、固定負債が255億75百万円（前連結会計年度末差44億62百万円減）であります。

流動負債の主な変動要因は借入金の返済により短期借入金が208億99百万円（前連結会計年度末差46億53百万円減）となったこと等によるものであります。

固定負債の主な変動要因は、約定返済により長期借入金が174億87百万円（前連結会計年度末差41億54百万円減）となったこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は842億41百万円（前連結会計年度末差37百万円減）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の43.5%から46.2%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、176億61百万円であり、前第2四半期連結会計期間末に比べ、25億70百万円の増加となりました。

なお、第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、61億99百万円（前年同期差13億74百万円の収入増）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益13億59百万円（前年同期差3億29百万円の収入減）、売上債権の減少額26億22百万円（前年同期差15億14百万円の収入増）、たな卸資産の増加額5億90百万円（前年同期差14億40百万円の支出増）及び仕入債務の増加額4億26百万円（前年同期差28億59百万円の支出減）等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、9億89百万円（前年同期差42億87百万円の支出減）となりました。

これは、有形・無形固定資産の取得による支出17億7百万円（前年同期差20億75百万円の支出減）及び投資有価証券の取得による支出4億35百万円（前年同期差8億3百万円の支出減）等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、95億32百万円（前年同期差83億38百万円支出増）となりました。

これは、短期借入金の借入れによる収入182億30百万円（前年同期差69億32百万円の収入減）と返済による支出228億83百万円（前年同期差18億57百万円の支出減）、長期借入金の借入れによる収入50百万円（前年同期差29億50百万円の収入減）と返済による支出41億87百万円（前年同期差5億39百万円の支出増）等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、本日別途公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
（税金費用の計算）

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（減価償却方法の変更）

当社グループは、従来有形固定資産については定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。この変更は、当社グループの保有資産を見直した結果、長期的かつ安定的に使用される資産（自社ビル及びそれに付随するもの、データセンター関連等）が大部分を占め、また将来的にストックビジネスの重要性がさらに高まることが見込まれており、減価償却費の期間配分を平準化できる定額法がより経営の実態を適切に表していると判断したことから、変更したものであります。この変更により、従来の方と比較して当第2四半期連結累計期間の減価償却費は373,063千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は358,179千円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,045,272	17,709,576
受取手形及び売掛金	28,385,475	25,752,528
有価証券	163,762	154,208
商品	268,126	232,769
仕掛品	1,453,968	2,082,073
原材料及び貯蔵品	31,761	29,160
その他	5,217,966	5,084,848
貸倒引当金	△31,394	△38,509
流動資産合計	57,534,939	51,006,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,699,169	56,910,059
減価償却累計額	△17,909,718	△18,743,929
建物及び構築物(純額)	38,789,451	38,166,130
土地	30,415,744	30,415,744
建設仮勘定	105,817	195,924
その他	16,569,432	16,773,008
減価償却累計額	△9,536,934	△10,255,459
その他(純額)	7,032,497	6,517,548
有形固定資産合計	76,343,510	75,295,348
無形固定資産		
のれん	4,206,566	3,692,864
ソフトウェア	7,096,069	6,856,618
その他	397,547	379,929
無形固定資産合計	11,700,182	10,929,411
投資その他の資産		
投資有価証券	15,016,768	13,749,416
その他	8,892,729	8,637,235
貸倒引当金	△71,866	△61,398
投資その他の資産合計	23,837,631	22,325,253
固定資産合計	111,881,325	108,550,013
資産合計	169,416,264	159,556,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,565,036	7,992,053
短期借入金	25,553,766	20,899,866
1年内償還予定の社債	44,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,362,240	8,379,468
未払費用	6,087,058	6,536,980
未払法人税等	782,048	735,830
役員賞与引当金	127,468	54,241
工事損失引当金	397,602	160,205
その他	6,180,044	4,971,030
流動負債合計	55,099,265	49,739,675
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	21,641,490	17,487,178
退職給付引当金	5,112,338	5,103,281
役員退職慰労引当金	410,958	360,342
その他	2,858,415	2,614,462
固定負債合計	30,038,202	25,575,264
負債合計	85,137,467	75,314,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,200,289	26,200,289
資本剰余金	28,438,965	28,438,965
利益剰余金	36,453,608	36,399,638
自己株式	△8,101,442	△8,101,616
株主資本合計	82,991,421	82,937,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△69,764	△103,817
繰延ヘッジ損益	5,654	△21,795
土地再評価差額金	△9,051,088	△9,051,088
為替換算調整勘定	△122,466	△77,149
その他の包括利益累計額合計	△9,237,665	△9,253,850
新株予約権	109,728	92,135
少数株主持分	10,415,312	10,466,167
純資産合計	84,278,797	84,241,729
負債純資産合計	169,416,264	159,556,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	66,824,584	65,788,767
売上原価	51,412,259	50,526,438
売上総利益	15,412,324	15,262,328
販売費及び一般管理費	13,886,091	13,159,732
営業利益	1,526,232	2,102,596
営業外収益		
受取利息	5,626	4,622
受取配当金	29,270	34,682
持分法による投資利益	134,044	—
システムサービス解約収入	906,193	—
助成金収入	248,870	104,823
その他	67,263	144,099
営業外収益合計	1,391,268	288,227
営業外費用		
支払利息	420,615	358,104
持分法による投資損失	—	363,267
システムサービス解約損失	853,879	—
為替差損	41,477	101,926
その他	25,778	16,957
営業外費用合計	1,341,751	840,256
経常利益	1,575,750	1,550,567
特別利益		
投資有価証券売却益	166,964	41,257
保険解約返戻金	1,251	—
事務所移転費用戻入益	9,296	—
負ののれん発生益	18,587	—
特別利益合計	196,099	41,257
特別損失		
投資有価証券評価損	—	89,415
事務所移転費用	71,563	—
事業所閉鎖損失	—	142,773
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,008	—
特別損失合計	82,572	232,189
税金等調整前四半期純利益	1,689,277	1,359,635
法人税、住民税及び事業税	80,588	536,553
法人税等調整額	57,941	320,238
法人税等合計	138,530	856,791
少数株主損益調整前四半期純利益	1,550,746	502,843
少数株主利益	259,236	237,975
四半期純利益	1,291,509	264,867

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,550,746	502,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△581,122	△66,733
繰延ヘッジ損益	△19,373	△50,889
為替換算調整勘定	△59,764	83,050
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,937	△7,988
その他の包括利益合計	△674,197	△42,561
四半期包括利益	876,548	460,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	690,075	248,683
少数株主に係る四半期包括利益	186,473	211,598

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,689,277	1,359,635
減価償却費	3,472,682	3,084,393
のれん償却額	593,738	577,173
退職給付引当金の増減額(△は減少)	154,292	△9,057
事業所閉鎖損失	—	142,773
支払利息	420,615	358,104
投資有価証券売却損益(△は益)	△166,964	△41,257
持分法による投資損益(△は益)	△134,044	363,267
投資有価証券評価損益(△は益)	—	89,415
売上債権の増減額(△は増加)	1,108,825	2,622,830
たな卸資産の増減額(△は増加)	849,808	△590,253
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,432,322	426,743
未払人件費の増減額(△は減少)	△370,136	259,968
未払消費税等の増減額(△は減少)	△330,520	△585,660
未払金の増減額(△は減少)	△46,448	△895,422
長期前払費用の増減額(△は増加)	△160,331	△114,649
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△82,031	△237,396
その他	1,210,632	243,732
小計	5,777,071	7,054,341
利息及び配当金の受取額	104,601	105,822
利息の支払額	△420,508	△350,915
法人税等の支払額	△636,212	△610,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,824,951	6,199,219
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,585,845	△462,274
無形固定資産の取得による支出	△2,197,550	△1,245,312
有価証券の売却による収入	542	—
投資有価証券の取得による支出	△1,239,420	△435,837
投資有価証券の売却による収入	574,797	1,123,901
新規連結子会社の取得による支出	△820,595	—
その他	△8,807	30,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,276,879	△989,182

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	25,162,090	18,230,000
短期借入金の返済による支出	△24,741,800	△22,883,900
長期借入れによる収入	3,000,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△3,647,104	△4,187,084
配当金の支払額	△318,317	△318,195
少数株主への配当金の支払額	△368,614	△168,682
リース債務の返済による支出	△197,283	△230,470
その他	△82,957	△24,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,193,987	△9,532,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,250	△60,221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,681,165	△4,382,900
現金及び現金同等物の期首残高	16,687,266	22,044,626
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	85,174	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,091,275	17,661,726

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	S I 事業	ファシリ ティ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	61,534,672	1,081,330	62,616,003	4,208,580	66,824,584	—	66,824,584
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,742	443,382	470,125	581,251	1,051,376	(1,051,376)	—
計	61,561,415	1,524,713	63,086,128	4,789,832	67,875,960	(1,051,376)	66,824,584
セグメント利益又は損 失(△)	1,216,886	350,917	1,567,804	△41,542	1,526,262	(29)	1,526,232

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコ
ンタクトセンター事業、人材派遣業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△29千円には、セグメント間取引消去△29千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	S I 事業	ファシリ テイ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	61,674,440	974,555	62,648,995	3,139,771	65,788,767	—	65,788,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,080	376,012	390,093	482,505	872,598	(872,598)	—
計	61,688,521	1,350,568	63,039,089	3,622,277	66,661,366	(872,598)	65,788,767
セグメント利益	1,671,189	408,881	2,080,070	22,755	2,102,825	(229)	2,102,596

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△229千円には、セグメント間取引消去△229千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 減価償却方法の変更

第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。その結果、従来の方と比較してセグメント利益はそれぞれ「S I 事業」が240,079千円、「ファシリテイ事業」が116,673千円、「その他」は1,426千円増加しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。